

2025年5月30日

田植え体験 2025



令和7年5月17日（土）、知多市七曲にある水田をお借りして田植えを体験しました。前日までの天気予報では大雨が予想され、開催が危ぶまれていましたが、当日はなんとか天候にも恵まれ、実施することができました。新入社員7名に加え、若手社員、ベテラン社員、さらには社員のご家族の方々にもご参加いただき、たいへん充実したイベントとなりました。田植えのあとは、参加者の皆さんとバーベキューを楽しみながら、疲れを癒し、交流を深めるひとときとなりました。

今回の田植え体験にご参加いただき、苗と一緒に植えてくださった皆様、そして事前準備や当日の運営を支えてくださったすべての皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

新入社員の感想

今回は天候不良により、田植え前日に開催時間を変更してしまいましたが、多くの方々に参加していただきました。ありがとうございました。新社員一同、田植えが初めてであり、計画していた内容とずれてしまうことも多々ありましたが、無事終了することができました。田植えはもちろん、準備段階から同期で協力しながら活動をすることができ、絆も芽生えたと思います。稲の成長に負けないように、自分自身も仕事で成長していこうと思います。

(N.J)



↑ 苗を植える場所の目印をあらかじめ決め、その位置に苗を植えました

立て看板

イタリア映画『LIFE is Beautiful』のタイトルをもじりながら、田植え体験を通して自然と向き合うことが「美しい人生」につながると考え、「ライフ」を「ライス」に置き換えました。「お米」の大切さや美しさ、そして命を育む力を表現しています。



今回、私は初めて田植えを経験しました。改めて、参加いただいた先輩方と協力していただいた農家の方々に感謝申し上げます。事前に立てた計画通りにいかないこともありましたが、無事に終わることができ安堵しています。田植え体験を通して、日頃から食に対する感謝の気持ちを忘れないことや仲間と協力して物事に取り組むことの大切さを再確認することができました。(O.A)

今回手植えによる田植えを体験しました。水田に足を踏み入れ、泥の感触を感じながら苗を丁寧に植えていく作業は、想像以上に体力と集中力を要しました。田植えは一見単純な作業に見えますが、苗の間隔や植え方についての知識を学ぶことができ、農業の奥深さと繊細さを実感しました。今回の体験を通じて得た気づきや学びを忘れず、食の恵みに感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。(O.Y)



↑ 田んぼ全体を5等分し、一列になって手植
えをしました。

初めての田植え体験は、自然と触れ合う貴重な時間でした。泥の感触に最初は戸惑いましたが、次第に慣れ、苗を一つひとつ丁寧に植える作業に集中しました。ただ、まっすぐ植えるのは意外と難しく、昔の農家の方々の技術と努力を実感しました。普段の生活では味わえない体験を通して、食べ物のありがたさや自然の恵みに感謝する気持ちが芽生えました。これから当社の業務を通じ、技術者として少しでも農家の方々の力になれるように頑張っていきたいです。(M.K)

小雨が降り、過ごしやすい気温の中、無事に田植え体験を終えることができました。ちょうどよい深さに植えたり、列をまっすぐに保ったりするのは難しかったですが、終わったときには達成感がありました。農業生産の大変さを実感するとともに、これらの現場を支える仕事ができる喜びを忘れないようにしたいと感じました。準備から実施に至るまで協力していただいた皆様、ありがとうございました。

(A.A)

天候が悪かったため、午後からの開催になりましたが、無事に田植えを終えることができました。私は田植えどころか、田んぼに入るのも初めてだったので、何もわからない状態でしたが、社員の皆さんが田植えのコツを教えてください、楽しく作業することができました。この経験を踏まえ、今後もお米の大切さを感じながら、いただきたいと思います。

(T.S)

オリエンテーション

田植えの前に苗の植え方の説明を行いました。



恵みの雨に包まれた中、皆さまの温かいご協力のおかげで、無事に田植え体験を終えることができました。心より感謝申し上げます。今回、私は田植え計画書の作成を担当いたしましたが、当日は計画通りに進行することができませんでした。その主な要因は、現場の田んぼが台形であったため、ロープを張っても植える方向が揃わず、真っ直ぐに並ぶことが難しかった点にあります。この経験を通じて、「もし整備された田んぼであれば、より美しく、効率的に植えることができたのではないか」と実感するとともに、手業による田植えの難しさを身をもって学びました。そして同時に、農業の基盤整備に携わる自分たちの仕事が、いかに重要であるかを改めて認識する機会となりました。この貴重な体験を胸に刻み、食を支える一員としての誇りを持ち、今後も一層真摯に業務に取り組んでまいります。（P.J）



↑ 今年も農家の方に苗を用意していただきました。田植えのコツや稲の知識など貴重なお話を聞けました。

